

アニメ「君の名は。」（聖地裏解説 2）



ドコモタワー

しくみ

- 宮中三殿 - ドコモタワー 4.27km
- // - 吉本興業 東京本部 4.27km
- // - ルルドの洞窟 (カトリック東京カテドラル関口教会) 4.27km
- // - 大司教館 4.27km
- // - カトリック東京大司教区ペドロの家 4.27km
- // - 国技館 4.27km
- // - 法乗院 えんま堂 4.27km
- // - 日本ユダヤ教団 4.27km
- // - 天理教東中央大教会 4.27km



中心

宮中三殿賢所

宮中三殿は、皇居内にある三つの連結された建造物の総称である。それぞれ、神道の神を祀っており、宮中祭祀（皇室祭祀）の中心となる。宮中三殿の構内には、附属するいくつかの建造物が配置されている。四方拝、新嘗祭が行われる神嘉殿（しんかでん）、鎮魂祭や天皇皇后の装束への着替えが行われる綾綺殿（りょうきでん）、神楽が行われる神楽舎（かぐらしゃ）、楽師が雅楽を演奏する奏楽舎（そうがくしゃ）、列席者が待機する左幄舎（ひだりあくしゃ）と右幄舎（みぎあくしゃ）、賢所に正対する賢所正門、新嘉殿に正対する新嘉門などである。宮中三殿の祭祀は、明治維新から宮中祭祀の変遷と漸次的集約を経て、教部省が成立した直後の明治5年4月2日（1872年5月8日）に整ったと解されている。

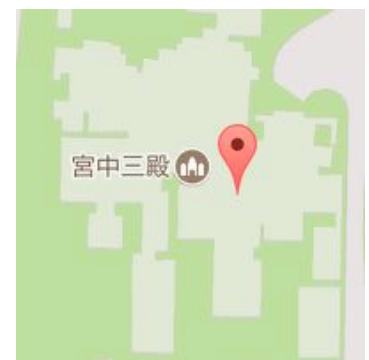
賢所には皇祖神天照大神を祀る。その御霊代である神鏡（八咫鏡の複製）が奉斎されている。また「かしこどころ」と読んで神鏡そのものを指すこともある。古代より宮中で祭祀された。掌典及び内掌典が御用を奉り、「忌火」（「神聖な火」の意味）を護り続けるとされる。平安時代は温明殿（うんめいでん）、鎌倉時代以後は春興殿にあった。古代から続くという宮中祭祀が行われ、現在の皇后、皇太子妃など皇族の妃らを宮中に迎える結婚の儀もここで行われた。その際、后妃が賢所を退出した際に婚姻成立とみなされる。神聖な場所のため穢れを嫌い、「次清」の別などの厳格な規律があるという。

なお、宮中三殿のうち賢所は古代から宮中で奉斎されてきましたが、皇霊殿と神殿は、明治維新以降の宮中祭祀制度の再編成によって新たに宮中に遷座・奉斎されたものです。

神殿

天神地祇八百万神が奉斎されている御殿で、明治5年3月に神祇省の廃止と共に宮中に遷座したのがその始まりで、三殿の中では最も後に成立しました。前項で記しましたように、明治2年6月、明治天皇は国是の確立を、天照大御神はじめ天神地祇八百万神と、神武天皇から孝明天皇に至るまでの歴代天皇の皇霊に御奉告のため、神祇官に霊代を設け招き祭らしめられ、御拝されました。そして同年、神祇官に神殿を設ける事が決まり、同年12月に仮神殿が竣工し、その中央の座に八神を、東の座に天神地祇を、西の座に歴代天皇の皇霊がそれぞれ奉斎され、鎮座祭が斎行されました。

明治4年8月、神祇官が廃され神祇省が置かれ、それに伴い神祇省に継承された神殿（西の座）に奉斎されていた歴代天皇の皇霊は宮中賢所に奉遷されましたが、八神と天神地祇は引き続き神祇省の神殿にお祀りされました。しかし、翌5年に神祇省が廃止され新たに教部省が置かれる事になり、そのため同年3月、神祇省神殿に奉斎されていた八神と天神地祇を宮中に遷し仮に賢所拝殿に奉安せしめ給う旨仰せ出され、それを受けて同年4月、神祇省の神殿に奉斎されていた八神と天神地祇、及び京都の神祇伯白川家、神楽岡の吉田家斎場、有栖川宮家の旧邸と新邸にそれぞれ鎮座されていた八神を、御羽車に移し、賢所拝殿に奉遷しました。翌5年、八神と天神地祇の両座を合祀して一座とし、「神殿」と改称され、これによって現在の宮中三殿の原型が成立しました。東京都千代田区千代田1-1



同距離

ドコモタワー

JR代々木駅の東側にそびえるNTTドコモ代々木ビル、通称「ドコモタワー」。東京都のビルの中では六本木のミッドタウンタワー、西新宿の東京都庁第一本庁舎に次いで3番目の高さを誇る。エンパイアステートビルなどの、1930年代に建てられたニューヨークの摩天楼を思わせるデザインが特徴である。新宿のランドマークとして定着したこのビルは、2000年の竣工以来、一般の商業ビルではなく、ドコモの自社専用ビル。関係者以外は立ち入りできない。このビルの地上240メートルの頂上付近に、見渡す限りの広範囲をカバーする「大ゾーン基地局」がある。この設備は、通常の設備と異なり、緊急用。まだ一度も稼働した実績がない。つまり、普段はまったく使われていないのだ。しかし、明日稼働するかもしれない。震災などの緊急時に稼働し、警察の110番や消防の119番、さらには自衛隊、政府要人の携帯電話など、重要な通信を確保するための特別な基地局だからだ。東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目24番3



吉本興業 東京本部

吉本が再び東京に拠点を持つ契機となったのが、1980年（昭和55年）頃に勃発した漫才ブームである。このブーム最中の昭和55年、東京連絡事務所を設置したのがその始まりである。これが現在の東京本社の起源となる。当時の東京吉本は、上京してくる大阪の吉本のタレントのマネジメントが主であった。2008年3月24日、東京本社は業務拡張に伴い、それまでの東京都千代田区から新宿区の旧新宿区立四谷第五小学校（花園神社の近く）に移転した。当面の予定は10年間といわれている。いわゆる廃校の再利用で、建物には耐震補強が施され、教室などはオフィスとして利用できるように、一部改築されているものの、階段や外観・内観などは小学校当時のものをそのまま利用している。併せて、吉本興業のスタッフ養成所である「よしもとクリエイティブカレッジ」を4月に同所に開校した。

東京都新宿区新宿5丁目18-21



ルルドの洞窟

1858年2月11日、フランスのルルド近郊のマッサビエールの洞窟で、無原罪の聖母がベルナデッタに初めて現れた。ベルナデッタへの一連のマリア出現は、教会当局によって神聖なものとして承認され、ルルドは国際的な巡礼地になりました。そしてマリアに対する信心から、1911年5月21日、フランス人の宣教師によって、その洞窟そっくりりに作られたルルドです。

カトリック東京カテドラル関口教会

東京都文京区関口3-16-15



大司教館

カテドラルとは、「カテドラ」のある教会のこと。カトリック教会には、教会の行政、司牧のための地域的区分があり、それを「教区」と呼びます。（日本は16の教区に分かれています。）それぞれの「教区」には教区長である司教または大司教がおります。この（大）司教が、自分の教区内にいる信徒を教え、導き、司式するための“着座椅子”をギリシャ語で《カテドラ》といいます。（祭壇左手にある紋

章のついた赤い座がそれです。)昔から、この言葉は教授、判事の席を意味しており、後に高座そのものをいうようになりました。つまり、権威をもって教えるという意味です。《カテドラル》すなわち司教座のある教会を“カテドラル”、司教座聖堂といいます。東京教区の司教座聖堂ですので“東京カテドラル”と呼ぶわけです。カテドラルは、いわば教区の〈母教会〉といえるもので、長である東京大司教が公に儀式を司式し、教え指導する教会なのです。教区全体の行事、集会もここで行われます。

カトリック東京カテドラル関口教会 東京都文京区関口 3-16-15

カトリック東京大司教区ペドロの家

ペドロの家はカトリック東京大司教区の司祭のための宿舎。独身で教会のために人生をささげた高齢司祭、病気の司祭を中心に、共同生活で安心して過ごせる教会の施設です。

カトリック東京カテドラル関口教会 東京都文京区関口 3-16-15

国技館

1985年1月場所より使用されている現在の国技館は2代目であり、国鉄バス駐泊場(旧両国貨物駅跡地)に建設された。新国技館は、総工費150億円の地上2階・地下1階で、全てを借金なしでまかなった。建設計画発表から3年の歳月で1984年11月30日に完成。翌年1月9日、盛大に落成式が催され、千代の富士と北の湖の両横綱による三段構えが披露された。その場所で千代の富士は「全勝優勝」、怪我を押して強行出場した北の湖は1勝も出来ずに「引退」と、明暗分かれる世代交代の場所となった。

大相撲の本場所、引退相撲、NHK福祉大相撲などで相撲協会自らが使用するほか、新日本プロレスのG1 CLIMAX決勝戦(2014年を除く)に使用され、1991年から毎年11月に高専ロボコンの全国大会、1992年からは毎年全日本ロボット相撲大会が開催されるほか、毎年2月には国技館5000人の第九コンサートが行なわれている。東京都墨田区横綱1丁目3番28号



法乗院 えんま堂

日本最大の閻魔大王座像がある。
平成元年、現在のえんま座像を建立。
東京都江東区深川 2-16-3



日本ユダヤ教団

1953年アメリカ軍関係者中心の、コミュニティが東京・広尾に形成される。日本ユダヤ教団が設立される。

かつては、神戸と長崎に比較的大きなユダヤ教徒のコミュニティがあったが、第二次大戦による影響で多くのユダヤ人はアメリカなどへ移住した。現在の日本在住ユダヤ人の多くは、アメリカ人を中心としたユダヤ系の一時滞在者であるが、イスラエルからの宝石商もいる。ユダヤ人とは断定できないが、日本在住のイスラエル国籍者は802名(2005年末)である。また、非常に少ないがユダヤ教に改宗した日本人も存在する。

日ユ同祖論(日猶同祖論、にちゆどうそろん)は、日本人(大和民族)とユダヤ人(古代イスラエル人のうちのユダ族、ベニヤミン族、レビ族)は共通の先祖ヤコブを持つ兄弟民族であるという説。

東京都渋谷区広尾 3丁目 8-8



天理教東中央大教会

日本で江戸時代末に成立した新宗教の一つ。中山みきを教祖とする宗教団体である。狭義には奈良県天理市に本拠地を置く包括宗教法人（宗教法人天理教）およびその傘下の被包括宗教法人（教会本部及び一般教会）を指すが、広義には中山みきが伝えた教義そのものを指す場合があり、信仰する単立の宗教法人もある。本稿では、狭義の天理教を中心に述べる。

東京都渋谷区神宮前5丁目14



備考

テレビで初放映されたアニメ「君の名は。」。映画館で見て以来2度目の鑑賞となった。その中で度々の頻度で映し出されていたドコモタワーが気になった。ここも五重塔の役割を果たしているのではない、久しぶりにグーグルマップを開いてみた。

結果、やはり宮中三殿を中心としてサークル状に日本を支配している巨悪たちの施設がぶつかった。いきなり吉本興業。生活保護を利用したマネーロンダリングや政府の御用芸人育成、さらには暴力団とのつながりなど、悪い噂は数多い。そして、またカトリック東京カテドラル関口教会にぶつかった。しかも奥の院的ルルドの洞窟、さらに大司教の館にも。ここはオウム真理教や麻〇太郎のしくみにも大きな役割を果たしている。法乗院の閻魔堂は平成元年に建立されたのが怪しい。悪い噂も多い天理教の東中央大教会。そして、東京タワーのしくみにもつながっていたニチュ同祖論の日本ユダヤ教団。八百長がばれてしまった大相撲の国技館。相撲はもともとユダヤ人の神事とされる。



日本ユダヤ教団



しくみ

- 日本ユダヤ教団 - 宮中三殿 4.27km
- " - JICA 東京 4.27km
- " - 科学技術振興機構 (JST) 4.27km
- " - 桜田門 4.27km
- " - 三笠山 4.27km
- " - 帝国ホテル東京 4.27km
- " - 電通本社 4.27km
- " - 御亭山 4.27km

日本ユダヤ教団

1953 年アメリカ軍関係者中心の、コミュニティが東京・広尾に形成され、日本ユダヤ教団が設立された。日本におけるユダヤ教のコミュニティセンターである。2006 年に匿名の寄付によって計画が始まった。

地下には駐車場と洗礼室。1 階に収容人数 200 人の多目的室とそれに隣接する厨房、南側のガーデンテラスに面するラウンジ。2 階には 86 席の固定席を持ったこの建物の中心的存在のシナゴークと日曜学校の教室、図書室がありラビの住居もある。高さ制限のなかで、天井高を可能な限り高くとるため多目的室を北側に、シナゴークを南側にずらして配置し、その間に吹抜け空間をもった光あふれるエントランスロビーを配置した。外観は、杉板本実型枠の打放し仕上、北と南のファサードにはカットした大判タイルでパターンを構成している。

東京都渋谷区広尾 3 丁目 8-8



独立行政法人国際協力機構 (JICA)

独立行政法人国際協力機構法 (平成 14 年法律第 136 号) に基づいて、2003 年 (平成 15 年) 10 月 1 日に設立された外務省所管の独立行政法人。政府開発援助 (ODA) の実施機関の一つであり、開発途上地域等の経済及び社会の発展に寄与し、国際協力の促進に資することを目的としている。前身



は 1974年（昭和 49 年）8 月に設立された国際協力事業団。

科学技術振興機構（JST）

科学技術振興を目的として設立された文部科学省所管の国立研究開発法人。文部科学省の競争的資金の配分機関の 1 つ。新技術の創出に資することとなる科学技術（人文科学のみに係るものを除く。）に関する基礎研究、基盤的研究開発、新技術の企業化開発等の業務及び我が国における科学技術情報に関する中枢的機関としての科学技術情報の流通に関する業務その他の科学技術の振興のための基盤の整備に関する業務を総合的に行うことにより、科学技術の振興を図ることを目的とする。

東京都千代田区四番町 5-3



三笠山

その日比谷公園の北西にある。この山は園内の池を造成した際に出た残土や石などで造られた人口の山。元々は西側一帯がそうだったらしいのですが、テニスコートを造成した際に一部削られて今のような形になっている。長州藩上屋敷があった。

元治元年（1864 年）7 月 19 日、京都での政界復帰をねらう長州藩は、兵力をもって強引に京都御所へ押しかけ、これを阻もうとする宮門警備の諸藩と交戦になった（禁門の変）。この騒動を受けて、幕府は全国各地の長州藩出先機関の没収・取り壊しを命じ、この長州藩桜田藩邸も翌 8 月に消滅してしまった。藩邸没収にさいして、50 名ほどの死者が出たという。

藩邸跡を含む周辺は、明治を迎えて陸軍近衛師団の練兵場となり、その後 明治 36 年（1903 年） に、ドイツ様式の近代公園として日比谷公園が誕生した。東京都千代田区日比谷公園



桜田門

【国指定重要文化財】 一般には桜田門と呼ばれています。枳形が完全に残っている城門のひとつで、小田原街道の始点にあたり、小田原口ともよばれていました。扉の釣金具には「寛文三年」の銘が入っています。安政 7 年/万延元年（1860）、大老井伊直弼がこの門外の堀端で水戸浪士らに暗殺される「桜田門外の変」が起きました。東京都千代田区千代田 1-1



電通本社

1901 年（明治 34 年）、光永星郎によって設立された「日本広告」を前身とする。1907 年（明治 40 年）、光永は通信社を設立したことで日本広告は吸収され「日本電報通信社」（電通）となる。

1932 年には満洲国において新聞聯合社と電通の通信網を統合した国策会社「満洲国通信社」（国通）が創立。同社は新京に本社を置き里見甫を主筆として活動したが、1936 年（昭和 11 年）には通信部門は同盟通信社に譲渡され、電通は広告代理店専業となる。

1947 年（昭和 22 年） に連合国軍最高司令官総司令部により公職追放された 上田碩三 の後任として吉田秀雄が第 4 代社長に就任し、広告取引シス



テムの近代化に努めた。軍隊的な社則「鬼十則」を作るなど、電通発展の礎を築いた。

広告代理店として単体では世界で最大（グループとしては5位）の売り上げ規模であり、連結売上高は2兆円を超える（2008年3月期決算による）。その圧倒的なシェアゆえ、市場の寡占化が問題視され、2005年（平成17年）には公正取引委員会が調査を開始し、調査報告書において電通の広告業界における寡占化の進行の事実を指摘した上で「公平性、透明性の確保が必要」と結論づけた。

築地や銀座、聖路加ガーデンに分散していた本社機能を集約するべく、電通は1997年に国鉄清算事業団が実施した汐留貨物駅跡地の公開入札に応募。2位の香港の企業と僅差で落札した。1999年秋に着工、約3年の歳月をかけ、2002年11月1日に竣工した。

東京都港区東新橋一丁目8番1号

帝国ホテル東京

明治19年（1886）に東京の官庁集中計画が練られた際に、外国人の接遇所を兼ねた国を代表する大型ホテルの設計が組み込まれ、帝国ホテルが1890年（明治23年）11月3日に落成、同7日に開業した。隣接する鹿鳴館と密接な関連を持ったホテルとして井上馨が渋沢栄一と大倉喜八郎の2人を説いて、1888年（明治21年）有限責任帝国ホテル会社（設立当初は有限責任東京ホテル会社）を設立させ建設したものである。

経営権は渋沢から大倉、そしてその死後は長男の大倉喜七郎へと引き継がれた。しかし戦後に、喜七郎が公職追放に遭った上に財閥解体によって大倉家の持ち株は放出。代わって東京殖産の長田庄一から巨額の資金援助を受けた「北支の煙草王」こと金井寛人が1953年（昭和28年）に株式の多くを獲得して会長となる。

1977年（昭和52年）の金井の死後は、その全持ち株が小佐野賢治の国際興業に譲渡。2004年（平成16年）にはその国際興業がサーベラスファンドに買収されるが、2007年（平成19年）10月に国際興業保有帝国ホテル株式の大半が三井不動産に売却され、現在は三井不動産が約33%を保有する筆頭株主となった。

東京都千代田区内幸町1丁目1-1



御亭山

1654年（承応3年）に甲府藩主の徳川綱重がこの地を拝領し、海を埋め立てて別邸を建てた。その後は甲府藩の下屋敷として使用された。このため甲府浜屋敷、海手屋敷と呼ばれるようになった。綱重の子である徳川綱豊が6代将軍（家宣）になったため甲府徳川家は絶家となり、将軍家の別邸とされた。浜御殿と改称して大幅な改修が行われ、茶園、火薬所、庭園が整備された。とくに徳川家斉と家慶の頃は、将軍の鷹狩の場であった。幕末には、幕府海軍伝習屯所であった。

慶応2年に着工した石造洋館が、明治2年に外国人接待所「延遼館」として竣工した。延遼館は、明治維新後も鹿鳴館が完成するまでは迎賓館として使用された。明治3年に、宮内省の管轄となり名前も離宮と改められた。明治天皇も度々訪れるようになる。その後、1923年の関東大震災と1945年の東京大空襲で、大手門や複数の御茶屋や樹木が焼失し庭園自体も大きく損傷したりと大きな被害を受けた。東京都中央区浜離宮庭園1



備考 2

日本ユダヤ教団は宮中三殿とどこも同距離になるように拠点を選んだか?教団以前からある古いものは、三笠山、桜田門、帝国ホテル、御亭山だ。ユダヤ教団は、日比谷公園の長州藩上屋敷跡にある三笠山と宮中三殿の同距離に拠点を作ったのではないだろうか。明治維新の軍事クーデターは、英国政府とユダヤロスチャイルド国際金融マフィアに全面支援された長州藩田布施マフィアによるものとされている。三笠山は、奈良の三笠山すなわち春日山の遥拝所だろう。春日大社の祭神である武甕槌命が、藤原氏により勧請され、白鹿に乗り降り立った場所が三笠山とされ、本宮神社が祀られている。長州藩屋敷お取りつぶしの際は 50 人が死んでいる。三笠山は長州藩の怨恨の血が滲みだした聖地である。

その後、同距離に JICA や JST、そして電通が建てられた。JICA は日本の CIA「J-CIA」として世界中で工作活動をしていると噂される。JST 科学技術振興機構は文科省の天下り天国として作られたのは有名。そして日本の広告業界の全て、さらに芸能界を支配し国民を洗脳する電通。



備考 3

ほかに気になったこと。糸守神社のご神体のドルメン（巨石）について。サークルに囲まれているのは東北の縄文時代のストーンサークルに思えた。中心に置かれたドルメン。ご神体が石なのは出雲系神社を表す。さらに巨石は水に囲まれていた。もう一人の主人公の瀧がたどり着いた時には水が満ちて池の中の島状態。これは「浮島神社」の祀られ方と同じ。山形県朝日町では、大沼の島（出島）に弁財天が祀られ、さらに沼に本当に浮いているいくつもの葦の島にも女神がいると伝わっている。アニメの舞台となった諏訪湖にある諏訪大社の浮島神社も中洲にある。全国の弁財天を祀る多くの神社が同じ形式になっている。浮島神社はほとんどが弁財天を祀っている。市杵島姫を祀るところも多いが、本当はすべて弁財天すなわち瀬織津姫なのだろう。やはり、主人公の三葉は消された瀬織津姫の象徴として描かれたのだろう。そして瀧は饒速日命か。内容はとても良かったが、なぜ大本教の東京拠点であり幸福の科学ともつながる須賀神社や創価学会の信濃町が舞台となってしまったのか。巨悪スポンサーが介在してきたとしか思えない。



山形県朝日町の大沼の浮島
奥の鳥居があるところが弁財天を祀る出島